

シグマ委員会核データ専門部会核データ評価W. G.  
重核 sub W. G, 実験法評価 sub W. G. 関係者会合議事録

日 時 昭和 59 年 7 月 13 日 (金) 9 時 50 分～17 時  
場 所 日本原子力研究所東海研究所研究 2 棟 221 号室  
出席者 村田, 川合 (NAIG), 松延 (住原工), 中島, 菊池, 中川 (原研)

配布資料

HN-84-03 <sup>239</sup>Pu 同時評価用実験データ部分誤差表 (川合)  
HN-84-04 <sup>240</sup>Pu 同時評価用実験データ部分誤差表 (村田)

議 事

1. 重核 sub W. G, 実験法評価 sub W. G 合同会合(59 年 5 月 18 日) 議事録の確認
2. 配布資料の説明

川合, 村田両委員がそれぞれ <sup>239</sup>Pu と <sup>240</sup>Pu の実験データの部分誤差表を説明した。

3. 共分散データ作成について

8 月末までに実験データの部分誤差から共分散データを作成し, 同時評価入力データとして九大に送る必要がある。その具体的手法および期限について議論し次のように決めた。

- a. 部分誤差表の作成

各核種の評価担当者はエネルギー点 10 点以内程度の部分誤差表を完成させる。<sup>239</sup>Pu と <sup>240</sup>Pu の分は HN-84-03, HN-84-04 としてほぼ完成している。

- b. 部分誤差のエネルギー相関について

相関のエネルギー依存は無視することとし, すべての部分誤差の相関は 1.0, 0.5, 0.0 のいずれかであると仮定する。考えられる部分誤差とその相関は次の通り。

試料の厚さ	1.0
標準断面積	1.0
検出効率	0.5



#### 4. 今後の予定

- 7月24日までにデータシートのフォーマットを作る。
- 8月25日までに各評価担当者はデータシートを作成し原研に送る。
- 8月28日（火）午後東海研で次回会合，出席者は今日の出席者と神田委員とする。